

あなたの手を、世界の誰かに。

2016年1月1日

セカンドハンド通信 NO.83

公益社団法人 セカンドハンド 本部事務局 TEL&FAX 087-861-9928
〒760-0055 香川県高松市観光通1-1-18
E-mail:jimukyoku2hand@yahoo.co.jp http://2nd-hand.main.jp/



子どもたちの未来のために！ チョム・ノブ・コキ小学校建設 視察報告



前号でお伝えした、バタンバン州のチョム・ノブ・コキ小学校、いよいよ着工です。

昨秋、学校建設現場を視察しました。(p.4で訪問関連記事) 国道5号線から、赤土のでこぼこ道を車で走ること約1時間、チョム・ノブ・コキ地域へ。森や斜面が広がる「奥地」と感じる地域です。キャッサバづくりで生計を立てている家庭が多く、辺り一面キャッサバが茂り、集荷して道端で乾かしていました。

字の読み書きができる村人が青空教室を開催していたこの地に、地域住民がお金を出し合って校舎が建設されたのが2013年。翌年公立校に。約150名の児童の中には9km先から通ってくる子もいます。校舎は照りつける日光や突然の大雨をしのぐ「小屋」程度で、学校側はこれまで何度も政府に新校舎の要請をしていますが、未だ回答は得られていません。

「子どもたちに教育の機会を与えたい。知識や教養は大切なんです」と青空教室で指導していた現、学校支援委員会の代表が



熱弁していました。現校舎建設に関わった現地NGOや地域住民も、子どもたちがより安全で勉強に集中できる新校舎の建設を切望しています。

学校建設は、支援委員会を中心に村人自身が行政との連絡や建設の進み具合の確認をし、盛り土作業などに直接関わりながら行われます。現校舎は、職員室や遠くから通う教員用宿舎として利用する計画です。

子どもたちが少しでもよい環境で教育を受けられるよう、皆様の温かいご支援をよろしくお願いいたします。



Rat Vuthy (11歳)
7人兄弟のうち6人がこの学校に通っている

机が足りなくて、床に座る時もある。雨の日はトタンの音で先生の声がほとんど聞こえないし、隅っこに移動してぎゅうぎゅう。私は本を読むのが好きだけど、砂が目に入って涙で文字が見えないときも困る。将来は、お母さんと同じキャッサバ作りをしたいな！



Chea Sophorn (38歳)
Vuthyのお母さん

私は学校に通えなかったから、読み書きできないし、難しいことは分かりません。本当に恥ずかしいです。だから、子どもたちには学校でたくさん勉強して、いい仕事を見つけてほしい。今の校舎は、大雨の時など子どもたちの安全が心配です。ぜひ新しい校舎を建ててください。



「セカンドハンド」は、ボランティアが主体となって運営する国際協力団体です。主な支援先はカンボジアで、学校建設や奨学金支援などのほか、自立・医療・孤児院支援を行っています。資金源は皆様のご寄付とチャリティーショップ(提供された品物を無報酬のボランティアスタッフが販売)。一人ひとりの力は小さくても集めれば大きな力となる」をモットーに活動しています。世界の誰かのために、あなたの力を貸してください。

商品提供やご寄付など、支援してくださった皆様へのお礼とご報告は、このニュースレターにかえさせていただきます。



教育支援

セカンドハンド支援19校舎目

ムエンバ小学校の校舎完成！



完成した校舎

アフリカ南部の内陸の国、ザンビアの首都ルサカから車で2時間ちょっと走ったチサンバ郡モンボシ地区の東部にあるムエンバ小学校には500人以上の生徒が通っています。資金不足のために建設途中でドアも窓もない状態、さらに屋根に穴があって雨や埃を防げない状態でした。この地域で活動する徳島のNPO法人TICOから修繕支援の相談があり、昨年支援を決定。12月3日に完工式が行われました。近隣の村の村長さんたちや保護者、住民らも参加し、生徒が歌を披露し（プロのゴスペル・シンガー？と思うほどすごい上手！）終始笑顔が溢れる式典をさらに盛り上げました。

保護者からは、「この学校に子どもを通わせるのは一つの挑戦でした。雨期には校舎が崩れるのではないかと常に不安でしたが、我々に修繕の資金はありませんでした。今は安心して通わせることができ、感謝しています」という喜びの声と同時に、まだ教室が不足しているので、できれば引き続き支援してほしいという要望も…。親たちの思い、そして安心して教育を受けられる環境整備の大切さもわかるので、今後TICOと必要性、優先度など踏まえて相談し、必要ならば、皆様にも報告＆支援のお願いをさせていただきます。

ひとまず、ありがとうございました！



校舎内部を見学する保護者たち



医療支援

コズマック病院へ

内視鏡ファイバースコープを！！

2015年5月に研修で来日したイム・ソチア医師から要請があり、所属するコズマック病院へ、内視鏡ファイバースコープの寄付をする方向で調整を進めています。コズマック病院はカンボジアの首都プノンペン市にあり、全国から患者が搬送される大きな病院です。ソチア医師の部署には内視鏡が使える医師が10名います。通常10名いれば3～4個の内視鏡が必要ですが、現状たった一つ。しかも、一度使用すると30分消毒するため、一日に5～6人診るのが精いっぱいです。

内視鏡を使った診断によって多くの患者が慢性の胃潰瘍と食道静脈瘤を持っていることが分かります。コズマック病院では消化管緊急疾患が多いため、内視鏡を使った的確な診断を行う事で死亡率の低下に直結すると思われます。

現在、中古のファイバースコープ（推定約100万円）を探していますが、現地で使用している機器がオリンパスの海外仕様とのことで、日本国内で探すこ

とが難しい可能性が出てきています。どなたか、こういった機器について詳しい、あるいはネットワークがある方、いらっしゃいませんか？

場合によっては、光源装置+内視鏡のセット（中古で150万円以上？）の支援となる可能性もあります。引き続き、資金を募りながら、よりよい機器を探す予定です。

1人でも多くの救える命を救うため、皆様のご支援・ご協力をお願いします！

ソチア医師から



私の病院には内視鏡が一つしかなく、診察できる患者の数は限られています。一人でも多くの患者の命を救うために、どうか支援して頂けたら嬉しいです。

孤児院支援



新しいフォスターチャイルド(里子)紹介！



今年の10月から新たにフォスターチャイルドとなったプロイちゃん(仮名)を紹介します。プロイちゃんは絵を描くのが好きな笑顔の可愛い9歳の女の子です。私たちが訪れると屈託のない笑顔を見せてくれた彼女ですが、タイに売られ家族とバラバラになってしまった経験をもっています。それまでベトナムに両親と一緒に住んでいましたが、母親がドラッグを横流しする仕事をしていたために警察に逮捕され、刑務所に入り、その後両親は離婚。弟は父親に引き取られましたが、母親に引き取られたプロイちゃんはタイへ売られました。タイ警察が保護し、7歳の時

からホームランド孤児院で生活しています。母親は刑務所から出ていますが、農園で泊まり込みで仕事をしているため、プロイちゃんと一緒に暮らせる状況はありません。父親は1度だけ面会に来たものの、プロイちゃんを引き取る気はなく、現在は連絡も取れなくなっています。

プロイちゃんのように、ホームランド孤児院で暮らす子どもたちは皆、暴力や人身売買、また死別といった様々な事情で家族や親と離れ離れになった経験を持っています。子どもたちには、日本から見守ってくれる「お父さん、お母さんがいる」というだけで心の支えになるのです。「将来は先生になりたい!」と笑顔で語ってくれたプロイちゃん。子どもたちの将来を支えるフォスターペアレント制度でご支援のご協力をお願いします！

※申込の詳細はウェブサイトもしくはセカンドハンド事務局までお問い合わせください！

セカンドハンド・ユース主催！ 国際協力イベント(ステージ&交流)！

ここからはじまる「和」 ～広げよう国際協力の輪～

11月21日、セカンドハンド・ユースがアイバル香川において、国際協力イベントを開催しました。今回のイベントは、例年開催のステージパフォーマンスに加え、ユースの活動報告、カンボジア渡航報告も行いました。また、ユースが支援するカンボジアの奨学生とインターネット通話でお互い顔を見ながらの交流も行いました。インターネット環境が悪く、途切れて会話ができないハプニングもありましたが、カンボジアからの生の声に会場は興味津々！

ステージパフォーマンスでは、会場全体で踊る場面もあって大盛り上がりでした。「ユースの活動を知ってもらいたい」との思いからスタートした今回のイベント。多くの方に足を運んでいただき感謝！今後のセカンドハンド・ユースの活動にも期待です！

ユース代表・芋坂さんより

今年はスカイプを通しての交流など新しい試みが多いこともあり上手くいかなかった部分もありましたが、少しでも自分たちの活動を知ってもらうことが出来て嬉しかったです。今回のイベントの反省を生かしてさらに積極的に活動を行っていきますので皆様これからもよろしくお願いします！



台風18号大雨災害の被災地支援募金

9月の台風18号にともなう豪雨による関東地方での浸水や土砂災害などの被害に対し、セカンドハンドでは被害に遭われた方々を支援するため、県内店舗での募金箱設置や中学生との街頭募金活動を行いました。皆様からお預かりした合計45,687円を日本赤十字社香川県支部に寄贈させていただきました。皆様のご協力、ありがとうございました。



玉藻中学校の生徒さんに協力していただきました



in
Cambodia

僕らが見た たくさんの笑顔

10月29日から11月3日、事務局職員のカンボジア出張（支援先視察）にセカンドハンド・ユースの2人が同行しました。2人とも大学1年生。ユースの活動も1年目の彼らの目にカンボジアはどう映ったかな？国際協力や自分たちの活動の意義についてもいっぱい考え、話し合った短くても濃～い現地での4日間を振り返ります。



片山大奨
(香川大学医学部1年)

僕たちが集めたお金はカンボジアの奨学生にほんとに役立っているんだろうか？



原雄一郎
(香川大学経済学部1年)

僕らが普段やっている募金活動などの地道な作業がどんなことに繋がっているんだろう？



初日はプノンペンから車で6時間、バタンバン州にある孤児院・ホームランドを訪問！ここでは、人身売買や性的な暴力の被害に遭った子ども、エイズで親を亡くした孤児など27名の子どもたちが生活しているよ。



ホームランドの子どもたちと長縄跳びやサッカーをしたよ！



これがセカンドハンドが建てた施設なんだ！孤児院って聞いて暗いイメージだったけど、みんな元気で明るい！日本のたくさんの人たちの想いが、カンボジアで子どもたちの笑顔をつくっているんだね～！



ここに来て、日本での日常を当然と受け入れるのではなく、今与えられているものをしっかり活かせるようもっと毎日を必死に生きるべきだと実感できた気がする。もし自分に余裕ができたときには、何か助けになることができればいいなあ。

1日目 ホームランド孤児院

バタンバン

2日目 チョム・ノブ・コキ小学校



今年度建設支援することが決まったバタンバン州内の小学校を訪問したよ！カンボジアの子どもたちはどんな学校に通っているのかな？



校舎の柱が白アリに食べられてる！いつ崩壊するか分からないな…自分が小学生のころは集中して勉強に取り組める環境が当たり前にあったけど、それが当たり前じゃない子どもたちがたくさんいる。早く新しい校舎で思う存分勉強したり遊んだりしてほしい。



吹きさらしの教室



プノンペン



ノイちゃん(中央)

この学校に通うノイちゃんはどんな生活をしているのかな？

※ノイちゃんの日※

- 5:00 起床、水浴び、血洗い
- 6:00 牛の世話（えさを食べさせるため原っぱに連れていく）、朝食づくりの手伝い、朝食
- 10:00 血洗い、キャッサバ畑での作業、水浴び
- 12:00 宿題、昼食、登校準備
- 13:00 学校で勉強
- 17:00 下校
- 18:00 牛を迎えに行く、夕食
- 21:00 就寝



雨が降ったら大変だろうなあ。もっと安全な場所で勉強できたらいいのに。

校長先生が「学校で英語を勉強できていれば、通訳を介さずに自分の言葉で色んな人と話げたのに」って言った。「子どもたちにはきちんと勉強できる環境をつくってあげたい」という気持ち、すごく伝わってきた。



センソック地域にある、NGOマリノールに到着。奨学生たちが出迎えてくれたよ。ユースが支援をしている奨学生が集まってくれたね。



話す言葉や住んでいる国は違うけれど、冗談を言って笑いあったり、恋バナしたり、中身は僕たちと変わらないなあ。みんなに会って話せてよかった。この子たちの役に立てて嬉しいって実感！



奨学生のみんと「ぜんざい」「白玉団子」を作りました。



意外にも抹茶味が人気！

3日目 マリノール



ユースの支援で学校に通えている子どもたちがこんなにいるんだなあ。これまでの募金活動では支援の行方が見えなくて、本当に困っている人の元に届いているのか、もやもやしながら活動してたけど、これからは迷いなく自分の言葉で呼びかけできそう！



みんなの手形入りメッセージを頂きました！



最終日は、カンボジアの歴史を巡る旅。1975年から1979年まで続いた波尔ポト政権下で、カンボジアでは200万人から300万人とも言われる人々が命を落したんだね。



収容所となったトゥールスレン高校



慰霊の塔に収められている遺骨



生まれる場所や時代が違えば、こんな狂気を経験していたかもしれないんだな。

4日目 キリングフィールド トゥールスレン博物館

帰国後…



日本での募金活動や小さな作業も、カンボジアの学生たちの未来に繋がっていることを実感できた。国際協力が難しいと思っていたけど、同じ人間として助けを必要としている人に、手を差し伸べるだけのことであった気がした。



一般的観光ツアーではないものをたくさん得ることができたんじゃないかな。ここで感じたことを忘れず、社会に貢献できる人材になってほしいな。セカンドハンドに関わるみんなの想いが遠く離れた地で暮らすカンボジアの人達の笑顔につながっていると実感できたこの旅。みんなへの「ありがとう」をいっぱい預かってきたよ。



企業・団体、協力のかたち

穴吹デザインカレッジが 授業で取り組んでくれました!

《セカンドハンドのウェブサイト》

リニューアルしたかったウェブサイトをグラフィックデザイン学科Webデザイン専攻の学生たちが授業で刷新!デザイナーとお客というスタンスでの実習です。こちらからの要望をくみ取り、2015年1月から公開へ。見事、皆のチームワークで素敵なサイトに仕上がりました。ぜひご覧いただき、感想をお寄せください!頑張ってくれた学生たちにフィードバックします。

《ボランティア募集ポスター》

ポスターのコンペをグラフィック専攻、まんが・コミックイラスト専攻の学生を対象に実施しました。1次審査で5つの優秀作品を選び、チャリティーショップ店頭やオンラインでの一般投票を経て、最優秀賞作品を決定しました。得票数が僅差であった為、最優秀賞作1つの他に特別賞1つも決定!この2つの作品をセカンドハンドのポスターとして地域のお店や学校などに貼らせていただく予定です。これで多くのボランティアさんが参加してくれるといいな~。



穴吹デザインカレッジの皆様ありがとうございました!
これからも生活を彩る素敵なデザインを提案してくださいね。

株式会社スワニーさんから 手袋いただきました

今年も新品の手袋をたくさんご寄付いただきました。自社商品のご寄付→チャリティーショップで販売(地域のお客様もHappy)→支援事業費となります。ボランティアさんたちにも大好評!手を温めるだけでなく、みんなの心も温めてくれるご寄付です!こんな商品の提供による協力也大歓迎!ありがとうございます。



最優秀賞作品:東原諒実さん
(グラフィックデザイン学科2年生)



特別賞作品:野崎咲良さん
(グラフィックデザイン学科2年生)

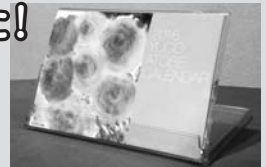


表彰式も行いました!

画家、跡部裕子さんの2016年カレンダーが寄贈されました!

以前、高松三越さんでチャリティー企画「手描きTシャツと絵画展」で協力して下さった、癒し系画家さんです!カレンダーのカラー写真はブログで紹介しています。

お店で卓上カレンダー販売中(1,200円)



多賀町倉庫でガレージセール

大型家電や家具など、普段お店で出すことができない商品を販売しました。開店前から行列ができ、「次はいつやるの?」と好評でした。大型商品が展示できる店舗もいいですね。



事務局スタッフ着任のご挨拶



林 香子
(はやし きょうこ)

私はこれまで、冒険教育・環境教育・国際理解教育・生涯スポーツ・体験学習法などを学び、「どんな体験を提供することが子どもたちの将来に最もインパクトを与えることができるのか」を模索して参りました。その中で、国際教育分野がより多くの子どもの興味を惹きつけることができる、と感じ、この分野を究めることを志しました。そこで出会ったのが、セカンドハンドです。セカンドハンドには、国際教育の推進に自分が貢献できる可能性を感じています。子どもたちに「将来の糧」となるような体験が提供できるよう、尽力したいと思っています。



各地でひろがるセカンドハンドの輪



丸亀店

7月に新店舗(1階)に移転して以降、店舗が狭くなった分、商品の入れ替えをこまめに行うよう努めています。現在、品出し作業をする人手が足りていないのが現状です。丸亀店では、お店番などでご協力いただけるボランティアの方を募集しています!「やってみようかな!」という方、少しでも興味のある方は、お気軽にご連絡ください!

セカンドハンド関東

★売ること、買うこと、繋がりが続いて14年★

東京、世田谷区の麻生学園深沢幼稚園では、バザーでフェアトレード商品の販売を14年続けてくれています。「色使いが好き」「肌触りがいい」と、毎年買って下さる地元ファンも多いとか。販売協力する先生方も、商品サイズや型の変更などにも気付くほど詳しくなり、ディスプレイの腕もあがりました!これまでの経験からシルクストールの横には大きな鏡をセッティングし、活動紹介のパネルは天井から目線に吊り下げるなどの工夫をした結果、売上げは6万円を上回りました。



★園長先生から一言★

過去、設立者の新田さんと現地で技術指導にあたるカンボジアの女性たちがいらして、幼稚園の保護者との交流会をしました。これからも女性の自立支援に繋がる品物の販売を続けていきたいと思っています。

セカンドハンド京都



11月3日、京都国際交流会館の「オープンデイ」というイベントに出店しました。大阪から応援にきてくれた元職員の砂子さんから、セカンドハンドやボランティアの皆さんの近況を聞くことができ、高松をととても懐かしく思いました。多くの方に活動を紹介でき、商品の売上も好調でした。今後もできる範囲で活動を行っていききたいと思います。菅谷(元職員)

セカンドハンド福岡

11月3日、毎年恒例となっている草ヶ江幼稚園のフリーマーケットに出店しました。当日は天候に恵まれ、多くのお客様が足を運んでくださいました。幼稚園関係のお客様も多く、セカンドハンドの活動をアピールする場として、とても良い機会となりました。お店は毎週月曜日に営業しております!福岡にご旅行の際は、是非お立ち寄りください!



第14弾!!

「どんな人達がボランティアしているの~?」 ~お店番ボランティアスタッフ編~

今回は、お店番、倉庫作業、バザーなど様々な場面で活躍する素敵な二人をご紹介します



伊藤玲子さん (品物提供をした際に声を掛けられ、倉庫作業からはじめ、お店番やバザーなど「なんでも楽しむ」をモットーに大活躍)

ボランティアに興味はあったけど、継続的にできるところがあることを知らなくて。セカンドハンドに出会った当初「思想がかるてる?」と警戒したけど(笑)違っていました。仕事との両立が逆に気分転換になっています。慣れてきて自発的に気付いて動くようになり、工夫して並べた商品が売れたり、お客様から反応があり、やりがいを感じています。

お店にいと外国のお客様や普段の生活では出会えない人とも話が出来るのが楽しいし、老若男女問わず気軽に関わって、みんなでやろうという雰囲気が好き。セカンドハンドに関わる人ってみんな素敵。これから素敵な人に出会いたい!

滝口文子さん (仕事の忙しくない時期、時間をみつけて倉庫作業やバザーの準備など、テキパキと進めてくれる。いつも楽しんで作業しているのが印象的)

セカンドハンドのことは昔から知っていて、ある日、品物の提供をするため訪れた店頭で「今、空いているならちょっとやってみない?」と声をかけられ、手伝ったのがきっかけです。少し空いた時間があれば行くようになり、ボランティア仲間やお客さんと話していると楽しくて、はまってしまいました。倉庫での値付け作業も、いろんな品物を見ることができて楽しいですよ。楽しい上にカンボジアの子どもたちや、日本の被災地への支援につながっていて、微力ながらもボランティアという形で携わることができて本当に良かったと思っています。

Second hand Official Supporter:SOS会員募集

SOS会員はセカンドハンドのファンクラブのようなもの。ファンとして手数料無料のを支えてください！お申し込みは同封の払込用紙あるいは、定額自動引き落とし(いずれも手数料無料)をご利用いただけます。お名前、ご住所を事務局までお知らせいただければ、所定の申込用紙を郵送します。(セカンドハンドのウェブサイトからもダウンロード可能)

	月々	1年一括
個人	一口 1,000円	一口 12,000円
法人	一口 2,000円	一口 24,000円
学生		3,000円

◆会費は寄付金控除の対象となります。

◆特典：報告書などの無料送付

カンボジア商品の割引購入

主催コンサート時の優待席確保

カンボジア視察渡航(実費)参加資格 ほか

セカンドハンド丸亀店パートスタッフ募集

店舗の運営、商品の値段付け、ディスプレイ等のできる人材を募集しています。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

探しています

白コピー用紙・色コピー用紙(どちらもA4サイズ)、プリンター
インク、水性・油性マジック(各色)、ホワイトボード用品

通信発送についてお知らせと ご協力のお願い

今年度よりセカンドハンド通信の無料発送を年2回(4月・10月)とさせていただきます。ただし、年間1,000円以上のご寄付をいただいている方、商品提供者、SOS会員には、引き続き年4回無料でご送付いたします。読みやすく、成果がみえ、学べる通信を目指して制作しております。制作・郵送費カンパとして年間1,000円以上のご寄付で応援してください！

商品提供の受付

冬物衣類:1月中旬まで

春物衣類:1月中旬～4月中旬

※季節を問わない物に関しては常時受付可

【持込先】セカンドハンド高松店

【送り先】これまでセシルさんに倉庫での荷物受取りをご協力いただいていたましたが、ご都合によりご協力いただけなくなったため、当面は下記宛に送付お願い致します。受取り場所などが決まれば、お知らせします。

	郵便番号	宛 先	宛 名	電 話
ゆうパック	760-8799	香川県高松市 高松中央郵便局留 高松市観光通1-1-18	公益社団法人 セカンドハンド	087-861-9928
クロネコヤマト	760-0051	香川県高松市田町12-7 ダブルス和田1階 高松田町センター止め		

セカンドハンド イベント&ボランティア情報

月々の会計報告書はセカンドハンド店頭に掲示しています。

日 程	内 容	場 所
1月3日(日)	初詣チャリティーバザー ～雲辺寺恒例、有名人を呼んでの福餅投げ～	四国霊場第66番札所雲辺寺
1月7日(木)	徳島大学国際協力論(講演)	徳島大学
1月30日(土)	日本チャリティーショップ・ネットワーク設立記念フォーラム	JICA横浜
2月6日(土)	国際交流集会(講演)	鳴門市賀川豊彦記念館
4月16日(土)、17日(日)	セカンドハンド通信発送作業	セカンドハンド本部4階

※講演の詳細にご関心のある方はセカンドハンド事務局にお問い合わせください

本部・高松店

■セカンドハンド本部(3F)

■高松店(1F)

〒760-0055

高松市観光通1-1-18

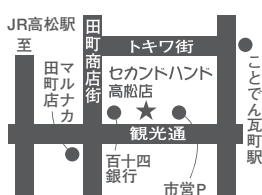
TEL:087-861-9928

営業時間:

月～金 10時～16時

土 11時～15時

日・祝日は定休日



片原町店

〒760-0040

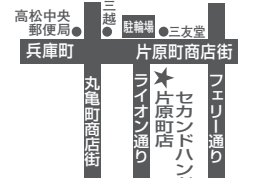
高松市片原町9-1

TEL:087-822-3552

営業時間:

月～金 10時～18時

土・日・祝日 10時～17時



丸亀店

〒763-0063

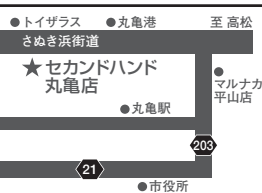
丸亀市新浜町1-803-2

マルナカパワーシティ丸亀店内

TEL:0877-25-2876

営業時間: 10時～18時

木は定休日



セカンドハンドのネットワーク

■セカンドハンド福岡

〒814-0131

福岡市城南区松山2-7-15

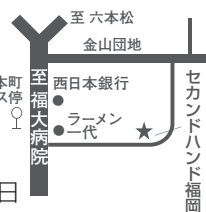
TEL&FAX:

092-871-5760

営業時間:

月 11:00～15:00

冬休み: 12月21日～1月11日



■セカンドハンド大阪

徳

(E-mail) tokuyo@d1.dion.ne.jp

■セカンドハンド北海道

吉田

(Email) 2hand.hokkaido@gmail.com

http://www.facebook.com/secondhandhokkaido

■セカンドハンド関東

早船

(Email) 2hand.kanntou@gmail.com

■セカンドハンド京都

菅谷

(Email) nsugaya0203@yahoo.co.jp

お店番、仕分け作業、事務、イベント運営、チャリティーショップやセカンドハンドの運営を支えてください。ボランティア募集！

☆このセカンドハンド通信は3か月に一度発行しています。封筒作り、発送作業等をボランティアで行い、年4回会員(SOS会員や商品提供者等)に、その内2回を全国の支援者へ無料で発送しています。購読希望の方は、ハガキ、FAX、メールなどでお申し込みください。